



柴田かつゆき

しばかつ通信 第020号(2026.3.12)



令和8年度予算の問題点 - 「年度内成立」にこだわらず十分な審議を -

▶▶▶ 詳細は裏面へ



衆議院選挙のご報告

2月8日投開票の衆議院議員総選挙では落選という結果になりました。

私の力不足でご支援いただきました皆様のご期待にお応えすることができず、大変申し訳ありませんでした。

この結果にも関わらず、多くの方から温かいお声を頂戴し、国政に再び復帰する決意を新たにしております。

国政に関する情報については引き続き収集し、この「しばかつ通信」で皆様にご覧いただけるよう駅前などでの配布も続けてまいります！

政治に対するご意見ご要望などございましたら、いつでも柴田かつゆきまでお寄せください。

今後ともよろしくご支援の程お願い申し上げます。

地元での活動

2月11日に開催した選挙報告会には、前回当選時の報告会の3倍くらいにもなる沢山の方々にご参加いただき、皆様から厳しくも温かい励ましを頂戴し、とても感激しました。本当にありがとうございました。

その後は、葛西海浜公園の里海まつり、新川みどりごちそう市、防災フェア、東京大空襲江戸川区戦災犠牲者追悼式などの区内行事や区内NPO法人のイベント、核兵器廃絶署名活動、朝・日友好親善の集い、区議会議員主催のタウンミーティングなどにもお伺いいたしました。

ト、核兵器廃絶署名活動、朝・日友好親善の集い、区議会議員主催のタウンミーティングなどにもお伺いいたしました。

今後も、様々な機会に皆様とお会いして、お話を聞きすると共に、国会議員・弁護士の経験を活かして地域に貢献したいと存じますので、お伺いできるイベント・集会などありましたら是非お知らせください！

「チームしばかつ」メンバー大募集

柴田かつゆきへの応援をお待ちしております！
まずは公式LINEで「しばかつ」最新情報を受け取っていただくだけでもうれしいです！！後援会やボランティアへのご参加も募集しております。

公式LINE X (Twitter)



いま(3月11日現在)国会では、令和8年度(令和8年4月～令和9年3月)の予算審議が行われています。

【予算規模と歳入】

一般会計予算の総額は122兆3092億円で、2年連続で過去最高となりました。

主な歳入は所得税25兆3250億円(なお「年収の壁」は178万円に引き上げられます)、法人税20兆6960億円、消費税26兆6880億円、国債発行29兆5840億円などとなっています。

【社会保障関係費の抑制策】

歳出で最も多い項目は社会保障関係費(39兆559億円)ですが、抑制策として高額療養費制度の自己負担額引上げ、OTC類似薬の薬剤費の一部患者負担等が含まれており、**難病・慢性病患者の方への過度な負担にならないか検討が必要です。**

【教育無償化】

文教及び科学振興費は6兆406億円ですが、この中には令和8年度から本格実施される高校無償化と学校給食無償化の費用3700億円が含まれています。

【防衛増税】

防衛関係予算は9兆353億円が計上されており、令和8年度から「防衛増税」が始まります。

具体的には、防衛特別法人税の導入、たばこ税の引上げ、防衛特別所得税(仮称)の導入によって、1兆円強の財源確保を見込んでいます。**中道改革連合は、物価高で苦しむ国民にさらなる負担を強いる防衛特別所得税の増税は取りやめるよう求めています。**

【中東情勢への対応】

2月28日に始まった米国・イスラエルのイランへの攻撃により、ホルムズ海峡を主要な輸送ルートとする原油の価格高騰は深刻です。

ガソリン代が1リットル200円を超えるような事態になれば、生活に車を使われている方の負担はもちろん、運送費の上昇が生活必需品を含むあらゆるものの値上がりにつながり、国民生活に深刻な打撃を与えます。

その対策として、**①ガソリン・軽油価格への緊急支援、②電気・ガス料金を含めた総合的な負担軽減、③運輸業をはじめとする中小企業への重点支援といった予算修正が必要**と考えます。

【審議スケジュール】

国会での予算審議は例年1月～3月に行われます。例えば今年の国会では予算案が1月24日に提出され、3月4日に衆議院を通過して参議院に送られ、3月31日に成立しました。予算委員会の開催日数は衆議院20日・参議院15日でした。

今年の予算案提出は2月20日で例年より1ヶ月近く遅れています。高市内閣は3月13日に衆議院を通過させ31日に成立させたいとしています。それでは予算委員会は衆議院で15日・参議院で10日程度しか開催できません。**野党は4月から必要な支出については暫定予算で対応したうえで、年度内成立にこだわらず十分に審議するよう求めています。**

「予算」というと数字ばかりで難しい話と思われるかもしれませんが、みなさんからお預かりした税金の使い道を決め、国の政治のありかたを示すものであり、私たちの生活に大きく影響していますので、ぜひ国会審議の状況にご関心をお寄せいただければ幸いです。

柴田かつゆき プロフィール

1968年10月生まれ。開成中高・東大法学部卒「困っている人を、助けたい。」との想いから弁護士となり、今年で31年を迎える。司法研修所刑事弁護教官、第二東京弁護士会副会長などを務めた。刑事事件の弁護人などの経験から国会議員を志し、2024年10月の衆議院選挙で初当選。2026年2月には落選し、次回選挙を目指して活動中。政治信条は「社会保障立国」「利権より人権」「トリクルアップ経済(「下から」の経済成長)」

編集後記～スタッフKのひとりごと

先日、街を歩いていたら、おそらくイスラム教の外国人の方が日本の困窮者へ「喜捨(ザカート)」をしている場面に遭遇しました。実は、私は学生のときにトルコで喜捨している場面を目にし、非常に衝撃を受け、その後イスラムの文化を研究課題にしたほどでした。すでにそこから10年以上経ちますが、まさか日本でその光景を見ることになるとは思わず日本のグローバル化を改めて実感させられました。その後に行った浜離宮は外国人の方が多く来訪していて嬉しい気持ちになる一方で、日本人の少なさに寂しさも感じました。

◀◀◀公式サイトはこちらから



〒134-0091

柴田かつゆき事務所

東京都江戸川区船堀1-4-10 第2乙女屋マンション 604

TEL 050-8886-1651 / MAIL office.kshibata@gmail.com